

金融経済教育に係る 講師派遣(出張授業)の概要等

- ◆ 講師派遣(出張授業)①講座
- ◆ 講師派遣(出張授業)②おこづかいゲーム(栃木県オリジナル)
- ◆ 申込みから講師派遣の流れ等
- ◆ (参考)金融リテラシー・マップ①
- ◆ (参考)金融リテラシー・マップ②
- ◆ (参考)標準講義資料の一般公開
- ◆ (参考)学校向け公開イメージ
- ◆ (参考)職域(従業員)向け教材イメージ

(本資料は、J-FLECホームページの情報等をもとに、栃木県金融広報委員会が作成したものです。)

- 全国の企業や学校等に、所定の審査を通過したJ-FLEC認定アドバイザー(J-FLEC講師)を派遣し、金融経済に関する出張授業(無料)の受け付けています。
- 講師派遣では、「金融リテラシー・マップ」に沿って、年齢層別に最低限身に付けるべき金融リテラシー(お金に関する知識・判断力)を習得いただけるような研修・授業を実施します。また、より詳しく学びたい方向けの詳細なコンテンツも提供する予定です。講義内容や時間については、講義テーマに応じて講師と事前調整することが可能です。

「講座」の申込み
実施希望日の45日前までに
J-FLECホームページ
講師派遣(出張授業)へ入力



年齢層	学べる主な内容(例)
小学生	「おこづかいから学ぶお金の話」 ・おこづかいの使い方、貯め方、お金の流れ・トラブルの事例など ※ ドリル・ゲーム・クイズなども活用した参加型形式もあり
中学生・ 高校生	「大人になる前に知っておきたいお金の話」 ・収支管理の基本、お金の貯め方のコツ、資産形成と経済活動の関係性、クレジット・奨学金の仕組みと注意点、金融トラブルの防止など
大学生・ 若手社会人 (10代~20代)	「社会人として知っておきたいお金の話」 ・家計管理や給与明細の見方、資産形成の基本(長期・積立・分散)や支援制度(NISAなど)、社会保険と民間保険、クレジット、奨学金、金融トラブルの防止など
中堅社会人 (30代~40代)	「将来に向けて知っておきたいお金の話」 ・家計の現状把握から外部知見(お金の専門家)の活用を通じた将来設計・資産形成の考え方、社会保険と民間保険、各種ローン、金融トラブルの防止など
ベテラン社会人 (50代以上)	「リタイア前後に知っておきたいお金の話」 ・定年退職後の生活を見据えた年金などの社会保険、退職金、税金の仕組みのほか、資産寿命の延伸、贈与・相続・終活などの概要



※ 特別支援学校向け、教員向けにも研修・授業を実施します。

【おこづかいゲーム】(小学4～6年生向け)

サイコロを振って出た目のカードを引き、カードの内容に合わせておこづかい帳を記入していくゲームです。おこづかいをもらったらどうするか？預金をする？お買い物をする？自分で考えて行動し、おこづかい帳に記入しながら、お金の出し入れをきちんと管理することについて学びます。必要なもの(ニーズ)と欲しいもの(ウォンツ)の違いを理解し、正しい金銭感覚を身に付けましょう。



「おこづかいゲーム」の申込み

実施希望日の2ヶ月前の月10日までに別紙3を「栃木県金融広報委員会」へメール(または郵送)で提出

〈ゲームの様子〉



栃木県金融広報委員会 おこづかいゲームをやってみよう♪

- ☆おこづかい帳をつけて、お金の出し入れをきちんと管理しましょう。
- ☆お買い物をする時のお金の使い方をよく考えましょう。
- ☆すぐ使わないお金はどうするか？よく考えましょう。



〈カードの種類〉

- ★ニーズ 「必要なもの」必ず買わなくてはならない
- ★ウォンツ 「ほしい物」買うか？買わないか？自分で考えてパスもできる
- ★どっきり 自分の不注意やアクシデントでお金やポイントが減ってしまう
- ★チャレンジ お手伝いをするとおこづかいがもらえる(ジェスチャーをする)
- ★ハッピー エコ・小さな親切で「ポイント」をゲット！
- ★ラッキー 思わぬところでおこづかいやポイントがもらえる



〈ゲームすすめ方〉

- ①お買い物リストから買いたい物を選ぶ(目標設定)
- ②前月のおこづかいの残り 2000 円を進行役より受け取る
- ③今月のおこづかい 1000 円を進行役より受け取る
- ④5～6 人を1グループとして順番にサイコロをふりカードを引く
- ⑤1 回りしたら、〈買いたい物→お店へ〉〈預金をしたい→銀行へ〉
- ⑥「翌月」となり、③～⑤の繰り返し
- ⑦4～5 周する(進行によって回数は適宜)
- ⑧最後に、買い物・預金・引出し自由に行う(何もなくてもOK)
- ⑨ゲームのまとめ、各グループ代表者の感想発表

■ゲーム実施の条件

所要時間

90分 (休憩時間を除く。)

事前準備

- ・参加者のグループ分け
- ・机や椅子などの会場準備
- ・ゲーム用紙への氏名等の記入(ゲーム用紙は実施日の約1ヶ月前に送付します。)

※ お願い

- ・ゲーム進行の補助者として、**教職員等を2名必ず配置**してください。
- ・**ゲーム実施会場**について、講師複数名がゲームの準備を開始30分前から行うため、ランチルーム等**教室以外**の手配をお願いします。

01
—

J-FLECのホームページからお申し込み

02
—

J-FLECから申込者へのご連絡

03
—

講義内容に関する講師との打ち合わせ

04
—

講師派遣の実施

05
—

アンケート提出

「おこづかいゲーム」は別紙3により
栃木県金融広報委員会へメールで申込み

- ・「講師派遣(出張授業)申込フォーム」から必要事項を入力のうえお申込みください。
- ・J-FLECから申込者へ、講師派遣の日時や講師に関してご連絡します。
- ・講義内容をご希望に沿った内容に調整するため、講師と打ち合わせを行っていただきます。
- ・当日、講師がご指定の会場で講義を行います。
- ・講師派遣終了後1週間以内に、アンケートのご入力・ご提出をお願いします。

J-FLECへの
講師派遣申込みは
こちらから→



注意事項

- ・講師派遣希望日の45日前までにお申し込みください。
- ・個社の営業活動やその他収益を得ることを目的とした活動への派遣依頼はお受けできません。
- ・J-FLECの講師派遣では、「金融リテラシー・マップ」に沿った内容での講義を行います。「金融リテラシー・マップ」から逸脱するテーマでの依頼や、特定の内容に極端に特化したテーマでの依頼はお受けできません。
- ・受講者数は原則として10人以上です。
- ・会場・機材の手配や参加者に紙で講義資料を配付する場合の印刷は、申込者において費用負担のうえ行ってください。
- ・台風や地震等の自然災害、講師の急病、その他やむを得ない事由により、講師を予定どおり派遣できない場合があります。

ご不明点がございましたら、下記窓口までメール又は電話でご照会ください（本連絡先での講師派遣のお申込みは原則としてお受けできません。障がい等の理由により申込フォームへの入力が困難な方に限り、電話でのお申込み受付をいたします。）。

J-FLEC 講師派遣事務局(受託者 株式会社DNPエスピーイノベーション)<jf-koushi@dsicontact.jp/050-3538-5773>

連続講座等、複数回実施する派遣のお申込みについては、お手数ですが、毎回ごとにフォームに入力いただくようお願いしております。

現在、多数のお申込みをいただいております。お申込み後、J-FLECからのご連絡まで2週間以上、お時間を頂戴する場合がございます。予めご了承のうえ、余裕をもってお申込みください。

- 「最低限身に付けるべき金融リテラシー」を、年齢層別に、体系的かつ具体的に記したものです。
- 「最低限身に付けるべき金融リテラシー」の内容は、「家計管理」、「生活設計」、「金融知識及び金融経済事情の理解と適切な金融商品の利用選択」および「外部の知見の適切な活用」の4分野に分かれます。

(金融リテラシー・マップ<イメージ図>)

分野	分類	小学生	中学生	高校生	大学生	社会人	高齢者
家計管理	家計管理	分野別・年齢層別に体系的かつ具体的に記載					
生活設計	生活設計						
金融知識及び金融経済事情の理解と適切な金融商品の利用選択	金融取引の基本としての素養						
	金融分野共通						
	保険商品						
	ローン・クレジット						
	資産形成商品						
外部の知見の適切な活用	外部の知見の適切な活用						

(注)小学生は、マップ本体では「低学年」「中学年」「高学年」に区分されますが、ここでは簡略化しています。

(出所)金融経済教育推進会議「金融リテラシーマップ『最低限身に付けるべき金融リテラシー』の項目別・年齢層別スタンダード(2023年6月改訂版)」

【具体的な内容の例】

1. 小学生向けの内容

- 必要なもの(ニーズ)と欲しいもの(ウォンツ)を区別し、計画を立てて買い物ができる。
- 困ったときにはすぐに身近な人に相談する態度を身に付ける。

2. 高校生向けの内容

- 職業選択と生活設計を関連付けて考え、生涯の収支内容を理解して生活設計を立てる。
- お金や金融・経済の機能・役割を把握するとともに、預金、株式、債券、投資信託、保険など基本的な金融商品の内容を理解する。
- トラブルに対処できる具体的方法を学び、実際に行使できる技能を身に付ける。

3. 社会人向けの内容

- 金融商品を含む様々な販売・勧誘行為に適用される法令や制度を理解し、慎重な契約締結など、適切な対応を行うことができる。
- 金融商品の特性(流動性・安全性・収益性)とリスク管理の方法を理解する。自らの生活設計の中で、どのように資産形成をしていくかを考える。
- 金融商品を利用する際に相談等ができる適切な機関等を把握する必要があることを認識している。

分野	分類	全年齢層を通じて習得すべきスタンダード
家計管理		<ul style="list-style-type: none"> 適切な収支管理(赤字解消・黒字確保)の習慣化
生活設計		<ul style="list-style-type: none"> ライフプランの明確化およびライフプランを踏まえた資金の確保の必要性の理解
金融知識 及び金融 経済事情 の理解と 適切な金 融商品の 利用選択	金融取引 の 基本とし ての素養	<ul style="list-style-type: none"> 契約にかかる基本的な姿勢の習慣化 情報の入手先や契約の相手方である業者が信頼できる者であるかどうかの確認の習慣化 インターネット取引は利便性が高い一方、対面取引の場合とは異なる注意点があることへの理解
	金融分野 共通	<ul style="list-style-type: none"> 金融経済教育において基礎となる重要な事項(金利(単利、複利)、インフレ、デフレ、為替、リスク・リターン等)や金融経済情勢に応じた金融商品の利用選択についての理解 取引の実質的なコスト(価格)について把握することの重要性の理解
	保険商品	<ul style="list-style-type: none"> 自分にとって保険でカバーすべき事象(死亡・疾病・火災等)が何かの理解 カバーすべき事象発現時の経済的保障の必要額の理解
	ローン・ クレジット	<ul style="list-style-type: none"> 住宅ローンを組む際の留意点の理解 <ol style="list-style-type: none"> 無理のない借入れ限度額の設定、返済計画を立てることの重要性 返済を困難とする諸事情の発生への備えの重要性 無計画・無謀なカードローン等やクレジットカードの利用を行わないことの習慣化
	資産形成 商品	<ul style="list-style-type: none"> 人によってリスク許容度は異なるが、仮により高いリターンを得ようとする場合には、より高いリスクを伴うことへの理解 資産形成における分散(運用資産の分散、投資時期の分散)の効果の理解 資産形成における長期運用の効果の理解
外部の知見の 適切な活用		<ul style="list-style-type: none"> 金融商品を利用するに当たり、外部の知見を適切に活用する必要性の理解

- 2024年8月14日、J-FLECホームページにおいて、標準講義資料の一般公開を開始。
- 以下10種類の対象層別の標準講義資料をPDFで提供。

対象層別【一般公開】	
学校向け	小学生(低学年)
	小学生(中学年)
	小学生(高学年)
	中学生用
	高校生用
	大学生用
職域向け	～20代 若手層用
	～40代 中堅層用
	～60代 ベテラン層用
一般向け	シニア層用

[講師派遣で使用する教材の公開について | J-FLEC 金融経済教育推進機構](#)

- ❑ 講師派遣(出張授業)のお申し込みから実際の派遣までに、派遣先の学校とJ-FLEC講師で擦り合わせを行い、授業時間や児童・生徒の理解度に応じて講義資料の調整を行います。
- ❑ 講義内容は「金融リテラシー・マップ」に沿って実施しますので、各年代別に最低限身に付けるべき金融リテラシー(お金に関する知識・判断力)を習得いただけます。
- ❑ クイズ・ゲームなども活用し、児童・生徒が楽しく学ぶ仕組みとしています。

(小学生向け<例>)

J-FLEC ⑤ 今日のまとめ **DRAFT** 44

○ 今日勉強したことをまとめてみよう

- お金は計画的に使いましょう。
- あなたが使ったお金の量は、お店の人がお金のたまるか、減るようになるか、事故や病気、ゲームのお金

J-FLEC ③ クイズ (計算してみよう) **DRAFT** 30

クイズ

銀行にあずけると、毎年1%の利息がもらえます。1万円をあずけた時、来年はいくらになっているでしょう。

- ① 2万円
- ② 1万1千円
- ③ 1万円

J-FLEC ② 税金について知ろう① **DRAFT** 15

警察官や救急隊員にあなたはお金をはらったことがありますか？

警察官や救急隊員には誰がお金をはらっているのでしょうか

(中・高校生向け<例>)

J-FLEC ⑦ 金融トラブルに対する鉄則 **DRAFT** 93

○ 金融トラブルを避けるための鉄則は3点です。

- ①『おいしい話には気をつける』。
「ローリスク・ハイリターン」
- ②向こうから近寄らない。
「今だけ」「あなただけ」
- ③万が一『トラブル』に巻き込まれたら、ひとりで悩まず、早めに対応しよう。

J-FLEC ③ ニーズとウォンツ **DRAFT** 20

○ お金の使い方を考える時は『優先順位』をつけましょう。

1. **ニーズ**と**ウォンツ**を区別する。
- 必要なもの・こと
- 欲しいもの・こと

J-FLEC ④ 資産形成と経済活動の関係性 **DRAFT** 32

○ 資産形成(預貯金・投資)は、『経済活動を支える』ことで、消費(商品の購入)と相まって『経済を循環』させています。

サービス向上・給与アップなどを通じ、私たちの生活がより豊かで便利に

- ❑ 職域(従業員)向けは年代毎に知っておきたいトピックを盛り込んだ、若手社会人向け、中堅社会人向け、ベテラン社会人向けの3種類を準備しています。
- ❑ 家計管理、資産形成等とあわせて、ローン・クレジットや金融トラブル防止など金融リテラシー・マップに沿って幅広い分野を学べる講義とします。また、講義だけでなく実際に一歩踏み出すためのサポートとして実施する「J-FLECはじめてのマネープラン」の紹介も行います。
- ❑ 受講する対象層・講義時間等にあわせて、派遣先と講師で擦り合わせの上で資料を調整します。ニーズに応じてより詳細なコンテンツにも対応可能とします。

(職域<従業員>向け<例>)

J-FLEC ② ①手取り収入を把握する (給与明細の見方) 9

○給与明細から『手取り収入と可処分所得』を把握し、その範囲内に支出を収めることが基本です。

給与明細の例	
支給	基本給 250,000
控除	雇用保険 1,000
	所得税 7,000
総支給額	295,000

J-FLEC ③ 外部知見の活用 (FP相談等) 22

○家計管理・生活設計などのお金の疑問を、自分事として捉えるには、『お金の専門家(ファイナンシャル・プランナー (FP)等)への相談を活用して、お金の見える化を行うこと』も選択のひとつです。

○FP相談等ではライフプランを踏まえて定期的に行うことが重要です。

J-FLEC ④ 社会保険と民間保険 34

○リスクに備える手段として、民間保険(任意)もあります。
○『(強制加入の)社会保険の保障内容をよく理解したうえで、(必要に応じた)民間保険を検討』することが重要です。

リスクのイメージ	社会保険	民間保険
病気・ケガ	公的医療保険	公的医療保険適用外の支出+生活費等差額ベッド代や自己負担の軽減、収入減少等への備えとして医療保険等を検討
長寿介護	公的年金(老齢年金) 公的介護保険	自身または家族が必要と考える金額を備えて個人年金保険、介護保険等を検討(必要に応じて資産形成も検討)
親など家計を支えていた方の死亡	公的年金(遺族年金)	自身または家族が必要と考える金額を子どもの教育費や遺族の生活費等への備えとして死亡保険等を検討
交通事故 火事など	-	事故による損害を補償備えとして自動車保険、自転車保険、火災保険等を検討(自賠責保険は強制加入)

J-FLEC ⑤ 金融トラブル(多重債務) DRAFT 100

○『借金返済のために他の金融機関から借金をすること』は借金が雪だるま式に増え、多重債務の原因になります。

多重債務のポ...

- 複数の業者から借金を背負ってしまう
- 軽い気持ちで借金をすると借金はすぐに膨らむ
- 収入の範囲内で高金利の借金をすると多重債務に陥る

J-FLEC ⑦ (参考) 住宅ローンの繰上げ返済 87

○通常のローン返済とは別に、ローンの元金部分(の一部)を繰り上げて返済することで、返済した元金に対する利息の支払いがなくなることで、繰上返済額を減らす効果があります。
○金融機関によって返済金額に制限を設けている場合や、繰上げ返済に手数料がかかる場合があります。

期間短縮型
毎月の返済額を委ねる返済期間

軽減される利息額
当初の返済額

返済額
利息部分
元金部分
繰上げ返済
繰上返済で充当される

J-FLEC ⑥ つみたて投資枠と成長投資枠の違い DRAFT 70

○つみたて投資枠、成長投資枠では、『対象商品、年間投資枠、保有限度額』など利用方法に違いがあります。

	つみたて投資枠*	併用可	成長投資枠*
投資対象商品	長期の積立・分散投資に適した一定の投資信託(金融庁の基準を満たした投資信託に限定)		上場株式、投資信託等(①整理・管理銘柄②信託期間20年未満、毎月分配型の投資信託及びデリバティブ取引を用いた一定の投資信託等を除く)
年間投資枠	年間120万円		年間240万円
非課税保有限度額(総枠)		1,800万円	1,800万円(うち成長投資枠は1,200万円)
非課税保有期間			無期限
買付け方法	「1カ月に1回」など定期的に一定金額の買付けを行う方法(積立投資)に限る		特に制限なし

*購入商品を売却した場合、(購入時の買値分だけ翌年以降)枠の再利用が可能